

第49回(H22年度)日本地すべり学会研究発表会  
口頭発表及びポスターセッションプログラム

第一会場							
日付	開始時刻	終了時刻	セッション	発表番号	発表者 発表演題名		
7月7日	13:00	13:15	[地すべり機構]	1-1	神原 規也	マスマーブメントに着目した斜面傾斜角分類案	
	13:15	13:30		1-2	盛合 禎夫	構造発達史から見た東北地方の地すべりーその6ー	
	13:30	13:45		1-3	加藤 弘徳	高知県大引割地域の山上開口クラックの地質的背景(予報)	
	13:45	14:00		1-4	山崎 勉	荒砥沢地すべり冠頭部で地震後急成長した陥没について	
	14:00	14:15		1-5	佐藤 壽則	堆積軟岩地域で発生したトップリング型地すべりー新潟県長岡市新山地すべりの例ー	
	14:15	14:30		1-6	赤井 静夫	長野県北部の高社山北麓岩屑流	
	14:30	14:45		1-7	山崎 新太郎	泥質片岩地すべりにおける萌芽的すべり層形成メカニズム	
	14:45	15:00		休憩			
	15:00	15:15		1-8	中村 真也	地すべりのすべり面平均強度定数の合理的決定	
	15:15	15:30		1-9	木村 匠	地すべり土の強度関を用いたすべり面平均強度定数の推定	
	15:30	15:45		1-10	Vithana Buddhi Shriwantha	Relationship between Fully Softened Strength and Residual Shear Strength of Several Landslide Slip Surface Soils	
	15:45	16:00		1-11	江口 佑人	地すべり土の回復強度に及ぼす再圧密時間の影響	
	16:00	16:15		1-12	津久井 敦也	大規模海底地すべりと付加体前縁断層上盤物質の摩擦特性	
16:15	16:30	1-13	河合 政岐	中国・九州北部豪雨により発生した佐賀県赤穂山地すべりの移動形態			
7月8日	9:00	9:15	[特別セッション・地震地すべり]	1-14	落合 達也	岩手・宮城内陸地震による二迫川・三迫川流域の崩壊箇所の特徴ー地震前後の航空写真判読による崩壊場ー	
	9:15	9:30		1-15	渡邊 一史	平成20年岩手・宮城内陸地震による地すべり性斜面変動の地形・地質特性と危険度指標	
	9:30	9:45		1-16	横山 俊治	荒砥沢スプレッドの地すべり構造に関する研究ー調査報告4 スプレッドの地質学的証拠ー	
	9:45	10:00		1-17	浅野 志穂	岩手宮城内陸地震時の被災山地における地震動分布の特徴	
	10:00	10:15		1-18	宮城 豊彦	大規模初生地すべりの発生と強震動に関する試行的研究	
	10:15	10:30		1-19	林 一成	2004年新潟県中越地震における地すべり発生場としての地形・地質の特徴	
	10:30	10:45		1-20	野崎 保	嵩泥と国見泥(第二報)ー立山カルデラ内の崩壊と変質作用ー	
	10:45	11:00		1-21	千木良 雅弘	地震地すべりの地質地形的発生場	
	11:00	11:15		1-22	ハスバートル	内陸地震による地すべりの多発範囲ー逆断層型地震の例	
	11:15	11:30		1-23	岡本 隆	地震後に活動が沈静化した地すべりの土質力学的検討	
	11:30	11:45		1-24	椎名 義徳	危険度評価検討からみた地震地すべり発生要因の特徴	
	11:45	12:00		1-25	汪 発武	インドネシア・スマタラ2009.9.30M7.6地震による流動性地すべり調査ーTandikek地すべりおよびMalalak地すべりを中心にー	
	12:00	13:00		休憩			
	13:00	14:00		ポスターセッションコアタイム			
	14:00	14:15		[特別セッション・地震地すべり]	1-26	Aly Ahmed	Investigations for Landslide Disasters Induced by Tasikmalaya Earthquake in Indonesia, September 2nd, 2009
	14:15	14:30			1-27	王 功輝	四川大地震により発生した天然ダムに関する調査研究
	14:30	14:45			1-28	田中 頼博	東竹沢地区における地震時大規模地すべりの再現解析ーひずみ軟化UWモデルによる初生地すべり領域に関するケーススタディー
	14:45	15:00			1-29	松下 圭佑	地震中の層理面の強度低下が引き起こした地すべりの再現解析
	15:00	15:15			1-30	関 晴夫	強風化泥岩斜面の地震時大規模崩壊のメカニズム
	15:15	15:30			1-31	永田 秀尚	破面模様から見た地震時地すべり破壊面の亀裂伸展過程
	15:30	15:45			1-32	石瀬 友浩	地震時斜面流動量のエネルギー一評価法による等価摩擦係数の影響
	15:45	16:00			1-33	山田 正雄	地震時の地すべり対策工の効果に関する研究
	16:00	16:15			1-34	丹羽 諭	地震時の地すべり防止施設の有効性に関する研究
	16:15	16:30			1-35	門間 俊之	地すべり抑止アンカー工の耐震補強効果の検討
	16:30	17:00			特別セッション 総合討論		

第二会場

日付	開始時刻	終了時刻	セッション	発表番号	発表者	発表演題名	
7月7日	13:00	13:15	[事例報告]	2-1	高山 陶子	沖縄中南部地域における地すべりの特性と課題	
	13:15	13:30		2-2	井上 英将	島尻層群泥岩の受け盤の切土法面で発生した地すべり事例	
	13:30	13:45		2-3	比嘉 優	島尻泥岩受け盤破砕帯における抑止アンカー工施工の諸問題 -森川地すべり対策工事を事例として-	
	13:45	14:00		2-4	羽田野袈綾義	平成21年7月中国・九州北部豪雨と防府市土石流災害	
	14:00	14:15		2-5	高谷 精二	スレーキング測定におけるディジカメ近接撮影の利用 -宮崎層群砂泥互層-	
	14:15	14:30		2-6	廣田 清治	同一地質の隣接斜面が示す異なる形態	
	14:30	14:45		2-7	前田 寛之	熱水変質帯地すべりの特徴-生田原南地すべりの例-	
	14:45	15:00		休憩			
	15:00	15:15		2-8	田近 淳	活火山麓の地すべり地形と火山性断層地形:北海道恵山の例	
	15:15	15:30		2-9	茂木 俊	先端が潜入する地すべりの事例について	
	15:30	15:45		2-10	福岡 浩	2009年11月中米エルサルバドル土石流災害調査	
	15:45	16:00		2-11	村岡 洋	善徳地すべりで想定される地震動の検討(予報)	
	16:00	16:15		2-12	末峯 章	地すべり地における地震の観測例	
16:15	16:30	2-13	梅村 順	宮城県栗原市耕英地区に分布する火砕流堆積物の一面せん断変形性状について			
7月8日	9:00	9:15	[事例報告]	2-14	矢部 満	仮設防護柵を対象とした斜面崩落の検知センサーと検出システムの開発	
	9:15	9:30		2-15	関口 尚志	地すべり活動に及ぼす融雪因子の影響予測手法	
	9:30	9:45		2-16	関場 清隆	斜面主部と上部で地下水状況が異なる地すべりの事例	
	9:45	10:00		2-17	相楽 渉	長野県入谷地すべりにおける高濃度Cl <sup>-</sup> イオンを含む地下水の起源について	
	10:00	10:15		2-18	荒井 多美子	横ポーリング工における排水量観測の活用事例	
	10:15	10:30		休憩			
	10:30	10:45		2-19	滝口 潤	豪雪地帯の融雪地すべりを対象とした地下水排除工の効果の評価手法に関する研究	
	10:45	11:00		2-20	杉崎 友是	複雑な移動方向を呈する大規模地すべりの地下水排除工効果の評価(その2)~福島県滝坂地すべりにおける検討事例~	
	11:00	11:15		2-21	加藤 靖郎	RSIグラウンドアンカーの適用例	
	11:15	11:30		2-22	張 帆宇	The repeated failure characteristics of multiple excavation-induced landslides in a high cut slope	
	11:30	11:45		2-23	窪塚 大輔	地すべり土塊変位量とアンカー緊張力変動量の相関性に関する検討	
	11:45	12:00		2-24	高橋 路輝	切土と融雪に伴い発生した地すべりの機構と対策工検討	
	11:30	13:00		休憩			
	13:00	14:00		ポスターセッションコアタイム			
	14:00	14:15		[事例報告]	2-25	鈴木 滋	2009年七五三掛地すべりの緊急対策工の効果について
	14:15	14:30			2-26	美馬 健二	林道計画における斜面災害防止に係る諸課題
	14:30	14:45			2-27	斎藤 華苗	防災拠点である都市公園のニーズと土砂災害への対応
	14:45	15:00			2-28	稲垣 秀輝	地すべりへの環境地質学の貢献
15:00	15:15	2-29	木村 勝美		天然ダム形成による湛水範囲の推定~福島県滝坂地すべりの例~		
15:15	15:30	2-30	宮原 仁		道路建設に伴う切土によって発生した岩盤すべり		
15:30	15:45	[対策]	2-31	鴨井 幸彦	節約時代の斜面防災対策 -とくに大規模地すべりや災害対応に関して-		
15:45	16:00		2-32	檜垣 大助	東北地方中山間地における住民による地すべり地域防災の必要性		
16:00	16:15		2-33	千葉 文絵	八甲田鳥川区域における自然環境への影響軽減を目指した地すべり対策		
16:15	16:30		2-34	中村 淳	三次元斜面安定解析(LEM)による杭工設計法の提案		
16:30	16:45		2-35	中村 明	地すべり対策工の地震に対する効果		
16:45	17:00		2-36	蔡 飛	地すべり対策工の動的有効応力解析-新潟県中越地震による進入地すべりを例として-		

第三会場							
日付	開始時刻	終了時刻	セッション	発表番号	発表者	発表演題名	
7月7日	13:00	13:15	[斜面安定]	3-1	笹原 克夫	異方応力載荷された砂質土の吸水によるせん断変形	
	13:15	13:30		3-2	柳崎 剛	降雨強度が土壌水分特性曲線に与える影響	
	13:30	13:45		3-3	岩田 直樹	土壌水分特性曲線の相違が降雨浸透速度に及ぼす影響	
	13:45	14:00		3-4	酒井 直樹	降雨浸透に伴う斜面変形挙動に関する実験的研究	
	14:00	14:15		3-5	山口 純平	繰り返し降雨履歴が降雨時の斜面変形に与える影響	
	14:15	14:30		3-6	久保田 哲也	九州北部における気候変動に伴う雨量増加の崩壊発生に対する影響の事例解析	
	14:30	14:45		3-7	木下 篤彦	三次元安定解析を用いたすべり面の残留強度特性の評価に関する研究	
	14:45	15:00		休憩			
	15:00	15:15		3-8	榎田 充哉	カラム形状が三次元安定解析結果に及ぼす影響	
	15:15	15:30		3-9	若井 明彦	強度定数の不確実性と斜面の全体安全率との関係	
	15:30	15:45		3-10	Atitkagna DOK	Slope Stability Evaluation of Excavated Rock Slope at Jeruklegi Claystone Quarry, Cilacap Regency, Central Java Province, Indonesia under Control of Geological Conditions and Earthquake	
	15:45	16:00		3-11	石田 孝司	崩落に至る地すべりの特徴について	
	16:00	16:15		3-12	今岡 洋輔	道路盛土の締固め度評価のための室内土槽での簡易貫入試験	
	16:15	16:30		3-13	Jin LIU	Utilization of soil stabilizers for ecological slope protection	
7月8日	9:00	9:15	[地すべり調査・計測]	3-14	千葉 伸一	挿入式孔内傾斜計のガイド管のねじれの実態と補正方法	
	9:15	9:30		3-15	三嶋 昭二	挿入式孔内傾斜計計測における0点ドリフトと計測データの補正について	
	9:30	9:45		3-16	才田 誠	地すべり土塊の鉛直変位が挿入式孔内傾斜計の計測結果に与える影響と対策	
	9:45	10:00		3-17	落合 文登	孔内傾斜計観測孔で確認した孔曲がりの特徴 —大規模地すべりが想定されるボーリング孔の測定例—	
	10:00	10:15		3-18	納谷 宏	簡易傾斜監視装置の開発	
	10:15	10:30		3-19	坂本 孝之	IT地盤傾斜計測システムを用いた初生地すべりの変動計測事例の紹介	
	10:30	10:45		3-20	中里 裕臣	仮想基準点を利用した地すべり移動量観測の試み	
	10:45	11:00		3-21	及川 典生	七五三掛(しめかけ)地区地すべりのGPS監視システム	
	11:00	11:15		3-22	石田 博英	すべり面末端が谷壁斜面中腹に位置する地すべり災害 —鹿部町常路地区地すべり—	
	11:15	11:30		3-23	岡本 有生	地すべり活動指標としての樹木の傾き	
	11:30	11:45		3-24	宇次原 雅之	無線式簡易型AE測定システムによる切土時の斜面の安定性監視	
	11:45	12:00		3-25	霜島 康浩	安全管理のための自動観測警報システムの活用と警告解除の設定	
	11:30	13:00		休憩			
	13:00	14:00		ポスターセッションコアタイム			
	14:00	14:15		[地すべり調査・計測]	3-26	柴崎 達也	平成20年岩手・宮城内陸地震で発生したニゴリ沢地すべりの土質特性
	14:15	14:30	3-27		眞弓 孝之	積算水位を指標とした地すべり対策事業の評価に関する研究	
	14:30	14:45	3-28		佐々 恭二	地震降雨による高速地すべり発生運動統合シミュレーションモデル(RAPID2)構築と2006年レイテ島地すべりへの適用	
	14:45	15:00	[その他]	3-29	小原 嬢子	道路に面する地すべりの管理・監視手法に関する考察	
	15:00	15:15		3-30	工藤 唯志	仮設防護柵の対応可能範囲に関する検討	
	15:15	15:30		3-31	岡田 康彦	治山えん堤背後堆砂の水分条件と流下土砂の捕捉率	
	15:30	15:45		3-32	竹内 篤雄	減災のための災害地下水調査法の提案	
	15:45	16:00		3-33	秦 吉弥	経験的サイト増幅・位相特性を考慮した2008年岩手・宮城内陸地震における荒砥沢地すべりでの強震波形の推定	
	16:00	16:15		3-34	高貝 暢浩	神流川流域における斜面変動地形の特徴について	
	16:15	16:30		3-35	土志田 正二	GISを用いた四国における地すべりの地形特性の解析	
	16:30	16:45		3-36	高原 宏史	粘土試料の一次元膨潤特性と生石灰添加による膨潤抑制効果	
16:45	17:00	3-37		高嶺 哲夫	主要地方道における地すべり・落石等に関する監視・警報システムの運用方法		

ポスターセッション

セッション	発表番号	筆頭著者	発表演題名
ポスターセッションコアタイム 7/8 13:00~14:00			
ポスターセッション	P-1	森屋 洋	月山火山周辺における大規模地すべりの変動と地下水特性
	P-2	東海林 明憲	平成21年に発生した七五三掛地区地すべりの変動実態
	P-3	千葉 則行	荒砥沢地すべりに出現した小突起地形の特徴について
	P-4	石丸 聡	地形・地質条件を考慮した北海道恵山-古武井地区の斜面崩壊危険度マップ —1mDEM・地質分布に基づくロジスティック回帰分析を用いて—
	P-5	若月 強	2009年7月防府市・山口市豪雨災害における土石流発生流域の地形的特徴
	P-6	井口 隆	北海道渡島半島における地すべり地形分布の特徴
	P-7	佐藤 剛	ブータン王国, マンデ・チュー中流域の地すべり地形分布
	P-8	八木浩司	ネパール中西部活断層直近の地すべり地形分布図
	P-9	高澤 忠司	2004年新潟豪雨災害における崩壊と降雨の関係
	P-10	阿部 大志	集水ボーリング工を模した実験装置の構築と基礎実験
	P-11	加藤 誠章	高知県谷の内地すべりにおける既設集水井工の効果について ～GAアルゴリズムによる自動パラメータ探索を用いた評価～
	P-12	日浦 啓全	四国の結晶片岩地すべりの地下水の水質特性
	P-13	柳楽 祐平	結晶片岩地すべり地の尾根を越える地下水流動の調査
	P-14	阿部 真郎	高速岩盤すべりのすべり面事例
	P-15	釜井 俊孝	琵琶湖・尚江千軒遺跡が示す中世の地震による湖岸地すべり災害
	P-16	佐藤 文晴	斜面崩壊の発生特性に基づいた通行規制基準の設定
	P-17	杉本 利英	地すべり調査における空中磁気探査の適用性
	P-18	shamen-net研究会 技術委員会	GPSによる地すべり地表面計測の実用性検証④ —大規模地すべりでの長期計測—
	P-19	高見 智之	二時期レーザ地形画像比較による地すべり変動の面的把握
	P-20	藤澤 和範	IT地盤傾斜計測システムを用いた水中での計測事例
	P-21	浅野 志穂	埋没谷斜面における地震動観測
	P-22	長谷川 陽一	地震地すべり地盤の動的性質評価を目的とした動的一面せん断試験機の開発
	P-23	丸山 清輝	地震時地すべり土塊の非排水繰返しせん断挙動
	P-24	谷本 彰	地下水の低下が小さい場合の排水効率改善による地すべり対策の有効性
	P-25	八木浩司	パキスタン フンザ川上流における大規模地すべりと地すべりダム形成(緊急報告)